

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 堀内けい子

日時	2026年1月13日(火) 10時00分～15時00分	天候	曇り時々 雨	コース名：	第61回よりみちクラブ
案内団体又は 催事名	住吉大社・住吉公園 探訪			人数	大人：24名

集合：10時00分 南海本線「住吉大社駅」改札口

ガイド：久賀田さん

行程：10:00 南海本線「住吉大社駅」→ 住吉公園 → 11:30～12:30（昼食）粉浜商店街にて各自昼食 → 12:30 住吉大社（反橋・島津忠久公誕生石・本殿他）→ 13:20 生根神社 → 13:30 大海神社 → 種貸社 → 14:10 楠堀社 → 石舞台 → 14:30 丸山大明神 → 浅沢社 → 大歳社 → 14:45 御田 → 15:00 反橋 解散

出席者…久賀田(ガイド)・村上・玉尾洋・山口・吉川・奥山・樋野・武田・澤井・渕・近野・上森・田中・米村・北川・橋本・山岡・寺尾・木邨・樋口・義田・山下・玉尾ひ・堀内けい子 計24名…順不同・敬称略

源氏物語に描かれた、住吉大社参詣のレリーフを見て公園へ

【住吉公園】

元は住吉大社の境内で、明治6年に公園として整備された、大阪で最も古い公園。 桜の名所である。

参道に沿って灯籠が沢山残る。(住友財閥が多く寄進) 松・ムクロジ・センダンの大木。

汐掛道・芭蕉句碑・鎌倉時代創建の日本最古の灯台「高燈籠」も見学。

(高燈籠の鬼門守護の黒猿は、現在資料館にレプリカとして残っている)

【住吉大社】

住吉大社は摂津国一の宮として崇敬を集める。全国2,300社の住吉神社の総本社。

伊弉諾尊が禊祓いを行った際に海中から出現された、底筒男命・中筒男命・表筒男命の三神と、新羅征伐に海を渡った神功皇后を祀る。住吉造りの四殿は国宝。

航海の守護神として、また、和歌・産業・貿易・外交の神として崇められている。

海運で財を成した回船中・荷主中、また藍玉・塗師・駁物の各講が奉納した立派な石灯籠が並んでいる様子は圧巻。

・反橋(太鼓橋)…住吉の象徴。淀君寄付の石の柱が今も残る。

・島津忠久公の誕生石…雷雨の中、丹後局が傍らの石を抱き、源頼朝の子を出産した。後の薩摩藩主島津氏の祖。(安産を祈る聖地。)

・生根神社…少彦名命を祀る。豊臣時代に淀殿により寄進された。

・大海神社…住吉大社の発祥の社。海の神、神豊玉彦を祀る。

　海神より授かった「潮満珠」を沈めた「玉ノ井」

・種貸社(一粒万倍)…稻穀を授かり、豊穀を祈る信仰。

・楠堀社…樹齢千年のクスノキを御神木とし、お稻荷さんを祀る。

　毎月初辰に参拝する商売繁盛の神様。(招福猫も有名)

・石舞台…「日本三大石舞台」舞楽を演奏

・丸山大明神…仁徳天皇の皇子「墨江中王」が、履中天皇との戦いに敗れ、この地に祀られた。

・御田…(2反)…古い様式を守る御田植神事。巫女舞・子供舞。

　合鴨を放し育成。有機栽培を行っている。

【所感】

初詣を兼ねて今年初めての、よりみち行事でした。多くの方達が参加して下さいました。

久賀田さんは、歴史に詳しく、分かりやすく楽しい語りで、(資料も沢山用意して下さり)

古えよりの深い信仰を守りながらも、新しい祈りも取り入れて、参拝者に人気の住吉大社を案内して下さいました。

今年も元気で楽しく良いスタートがきれました。ありがとうございました。



反橋の前にて